

第2回

ぐんま子ども・子育てコロキウム

子どもの1型糖尿病

- 開催日時 令和4年3月26日（土）13時～15時
- 開催方法 完全オンライン（スマホOK!）、事前申込制（参加費無料）
- 参加者の対象 糖尿病のお子さんご家族、教育関係者、医療関係者
母子保健にかかわる方、このコロキウムに興味をもった方

1型糖尿病をご存知ですか？ 糖尿病にはいくつかのタイプがありますが、1型糖尿病は発症時より1日複数回のインスリン注射と血糖測定を必要とします。一方、適切な治療を継続すれば、友達と同じように活動することができます。1型糖尿病の子どもは、その家族だけでなく、学校の先生やかかりつけ医の先生にもご支援いただきながら、健やかな成長発達を獲得していきます。今回のコロキウムでは、全体会のほか、分科会を用意しました。また、群馬県の小児患者会の紹介やその卒業生からのメッセージをお伝えします。途中参加や途中退室も問題ナシですので、ぜひご参加ください。

？インスリン？
低血糖？補食？
学校生活？

- 全体会（13:05） 子どもの1型糖尿病とは？
- 分科会1（13:30） 1-1カーボカウント 1-2レクリエーション（子ども向け）
1-3 療養指導（医療・教育・母子保健関係者に限る）
- 分科会2（14:00） 2-1学校での支援 2-2思春期と向き合う
- 全体会（14:30） 群馬小児糖尿病の会（ひまわり会）の紹介
ひまわり会卒業生からのメッセージ

参加申し込み方法（しゅり 3月23日）

件名を「第2回ぐんま子ども・子育てコロキウム参加希望」として、お名前と希望する分科会番号（分科会1と分科会2からそれぞれ1つずつ）を以下に送信してください。

gunma-colloquium@outlook.com

患者会や母子保健、教育、医療関係の方は、ご所属を記載してください。

お問い合わせ先：
群馬大学小児科学教室 大津
電話027-220-8205



ぐんま子ども・子育てコロキウム

ぐんま子ども・子育てコロキウムは、子どもの心と体の健やかな成長をテーマに、群馬大学小児科学教室が子育てに関与する多職種と連携を図りながら、自身の持つ知的資源を地域社会へ提供することによって、地域社会との密接なつながりをつくり、大学・企業・地域社会が共に発展していくことを目的としています。

「コロキウム」とは、ラテン語のコロキウム（談話・会談）に由来し、現代語では、対話、討論（会）やゼミナールなどを意味します。本企画では、講演会だけでなく参加者との対話をやりたいという考えから、「コロキウム」の名称としました。

協力：済生会前橋病院栄養科

主催：群馬大学 地域連携推進室
大学院医学系研究科小児科学

後援：群馬県小児内分泌代謝疾患対策推進会議
群馬小児糖尿病の会（ひまわり会）

企画：大津 義晃（群馬大学大学院医学系研究科 小児科学）

